学校番号	1302

令和８年度　（学）共生科

教科	(学)共生	科目	（学）子どもと遊び	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	本校作成の教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもと遊び、表現活動、児童文化財など、子どもの生活の中での文化活動を学びます。理論の学習だけでなく、おもちゃや絵本を製作し、子どもの遊びの観察や保育実習を通して保育者としてふさわしい考えや行動を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
子どもにとっての遊びの重要性と役割、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
子どもを取り巻く課題を主体的に解決し、子どもの発達や環境の変化に対応できる能力と実践的な態度を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
子どもの健やかな発達をめざして自ら学び，保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもと遊びの重要性を理解できている。 保育者としてふさわしい考えや行動を理解し、身につけている。 基礎的・基本的な知識や技術を身に付け、課題製作や発表に活かしている。	子どもの発達段階についての課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、表現している。	子どもと遊びに関心をもち、課題や体験学習内容に意欲的に取り組んでいる。 保育者としての考えやふさわしい行動を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	遊びの重要性	子どもと遊びとは 遊びの意義 遊びと遊具、玩具 デザインや色 絵本作成、発表	a: 児童文化財が子どもたちに与える影響を十分理解する。 b: 絵本を読む練習をし、読み聞かせの発表をする。 c: 子どもの文化の重要性に関心をもち、課題に意欲的に取り組もうとしている。テーマを決め、絵本を製作する。	定期考査 提出物	定期考査 作品製作 発表	取り組み態度 提出物 作品製作
二学期	子どもの生活、発達に応じた遊び	遊びの種類 子どもの衣食住 身体と心の発達 保育体験	a: 子どもの発達と遊びの関連性を理解する。 b: 子どもの文化、発達と遊びに課題を見出し、思考を深めている。 c: 子どもの生活、心身の発達について理解し、発達段階に応じた玩具の製作を通して、子どもとの関わり方を学ぶ。	定期考査 提出物	定期考査 提出物 発表	取り組み態度 提出物 作品製作
三学期	子ども文化実習	子どもと関わる前に 遊びの観察と子ども理解	a:保育者としてふさわしい考えや行動を理解し、身につける。 b: 子どもの遊びの観察の方法を学び、思考を深めている。 c: 作成した玩具を用いて子どもと関わり、子どもと遊ぶスキルを身につける。	定期考査 提出物	定期考査 提出物 実習	取り組み態度 提出物 実習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度